

2026年4月上旬

一粒書房 新刊のご案内

日本文化・伝統・植物
ご担当者様〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

花の文化立国日本 お花の歳時記

卷二

四六判・並製本／250頁／定価：1306円(本体1187円+税)

永田晶彦[著]



日本の国土は、きれいな水がとめどなく潤沢に流れる水脈を有し、かつそれを受け止めつつも余分な水を海におくり出す芳醇な土に恵まれているため、植物の多様性に富んでいます。

また、日本人には、文字の発生以前から和歌などの文学的素養があり、古代から文学、美術、工芸、音楽、芸能、娯楽、その他文化が発達し、その後の歴史において、これら各分野を芸道にまで発展させる勤勉性を持っていました。これら二つの要素が絡み合い、日本人の祖先は、春には井戸横に咲く花の群れをそこで水を汲む女性たちの華やかさに例え、夏には海辺に咲く浜木綿の姿を見ては亡くなった父の思い出に浸り、秋には川面に浮かぶ落葉の紅を神の世にもない美しさと詠い、冬には雪の中に咲く牡丹に菫をかぶせて観賞するような民族になっていきました。

このような視点で日本の花を観ていくと「日本という国に生まれ育った」ただそれだけでも花を楽しむアドバンテージを持ち合わせていることが実感できるはずです。

【著者紹介】永田晶彦 (ながた あきひこ)

昭和37年愛知県生まれ。昭和62年群馬大学工学部卒。愛知豊明花き流通協同組合理事長、公益社団法人園芸文化協会理事、とよあけ花マルシェプロジェクトリーダー。

日本最大の鉢花の流通拠点である愛知豊明花き地方卸売市場において、花の流通・施設管理をする一方、地元から海外まで、広く日本の花文化を啓蒙することに尽力する。

44歳から中国語をマスターし、特に中国との花の文化交流に深くかかわるとともに、古代から近世の日本と中国の歴史に記録された日本の花のルーツを調査している。

初刊に続き、日本伝統の花から毎月1種、4年間で計48種類を取り上げ、その文化背景を、文献に沿いながらもわかりやすく、ユーモラスに解説

5年目 4月／【ヤマグワ】栝 ヤマグワの枝が美女が変わったお話

5年目 5月／【キリ】桐 名前は知ってるけど見たことない?キリの花

5年目 6月／【ナツツバキ】夏椿 サラソウジュの花の色って?

5年目 8月／【ホウセンカ】鳳仙花 ホウセンカって、実は凄い花だって知ってました?

8年目 8月／【サギソウ】鷺草 雑草の一つだけど蘭。サギソウにまつわる歌と伝説...等

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			永田晶彦[著]
			花の文化立国日本 お花の歳時記 卷二
			四六判・並製本／250頁 定価：1306円(本体1187円+税)
冊			ISBN978-4-86743-433-8 C1320 ¥1187E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い